

●踊り花見

○着物姿の女性たち横位置

○女性たち正面

○神社の前で引き継ぐ様子

○弥勒踊りを始める

○新勝寺境内で踊る

12 4月上旬、

成田山新勝寺の門前町を歩く  
着物姿の女性たち、女人講の人々です。

13 彼女たちは、

300年以上前の江戸時代から続く  
女人講の伝統行事・踊り花見を、  
今に受け継いでいます。

14 去年、当番だった女人講の人々は、

この日、今年の当番にあたる人々に、  
御神体を保管する務めを引き継ぎます。  
そして、務めから解放された喜びを  
踊りで表現します。

15 その時に踊る弥勒踊りは、

鹿島神宮を中心に茨城県、千葉県など  
関東南部に広く伝えられている  
郷土芸能です。